

カリキュラム

コースコード：26-405

中小企業大学校 九州校

タイトル	支援事例から学ぶ！小規模事業者伴走支援の進め方				
サブタイトル	支援担当者が習得すべき企業の寄り添う伴走支援の実践に必要なスキルを身に付ける				
研修のねらい	小規模企業が持続的に発展していくためには、限られた経営資源を最大限に活用し、経営力を向上していく必要があります。本研修では、長年にわたる小規模事業者の支援の実例を通じて、経営者へ気づきを与えます。また、変革を促していくためのプロセス分析・自走化に向けた本質的課題の設定と解決に向けた提案手法、経営者への共感と敬意を持ちつつ支援を進めていくための支援姿勢・成果を高めるためのポイント等について学びます。				
日程	2026年11月4日（水）～5日（木）	日数	2日	時間数	10時間
対象者	①中小企業支援担当者並びに 中小企業支援協力機関の役員及び職員 (中堅担当者または職務経験5年程度以上の方) ②認定支援機関	定員	20名	受講料	22,000円
		会場	中小企業大学校 九州校 (福岡県福岡市博多区綱場町2番1号)		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
11/4 (水)	12:50～13:00	開講式	オリエンテーション	フード&ビバレッジビジネス 研究所 代表 松原 憲之
	13:00～17:00	支援者の役割 支援事例の紹介	・支援施策の動向と支援機関の役割 ・危機を契機に「10年前倒しの経営革新プラン」を実行した 伴走支援事例の紹介	
11/5 (木)	10:00～12:00	思考法と対話手法	中小企業支援において、経営者と円滑に対話を進めるため身につけておきたい 思考法と対話手法について学びます。 ・信頼関係の醸成 ・自然体でフラットな姿勢 ・シンプルで理解しやすく負担の軽い支援	
	13:00～15:00	課題設定のための アプローチ手法	経営者に気づきを与え、自己変革を促していくためのアプローチ手法について、 演習を交えつつ学びます。(モデル企業を題材に、ストアコンセプトシート等の ツールを活用した演習を想定) ・経営・企業理念の確認 ・問題解決のためのアプローチ(共通言語、指標での対話)	
	15:00～17:00	実行支援の進め方 まとめ	設定された課題の着実な実行を促していくうえで必要とされる 考え方・手法について学びます。 ・本質的課題の設定 ・継続的な計数管理の定着のためのポイント ・成果を高めるためのポイント	
	17:00～17:10	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
松原 憲之 (まつばら のりゆき) フード&ビバレッジビジネス研究所 代表	個人経営の飲食店を中心に約2万店ほどの支援に携わってきた経験から「飲食店の活性化」や「酒類食品関連企業の活性化」、「商店街まちバル」等の支援を得意としている。また中小機構にて、中小企業アドバイザー(販路開拓実務)及び、中小企業アドバイザー(中心市街地・商店街活性化)としても活躍している。 【主な受賞歴】 令和5年度中小企業経営診断シンポジウム最優秀賞「中小企業庁長官賞」

備考

※中小企業診断士資格更新研修 理論1回※要確認
 ※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。
 ※お昼休みは12:00～13:00を予定しておりますが、予告もなく変更する可能性があります。ご了承ください。